

▼高校時代、仲間と一緒に吹奏楽コンクールに出場した記念の一枚(上段左から2番目)



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

音楽と仲間

私の音楽との出会いは、4歳の時。どうしてもピアノがしたいと両親にせがみ、ピアノを始めたのがきっかけでした。中学校、高校と6年間は吹奏楽部でトランペットを吹きました。運動部の目標が中体連ならば、吹奏楽部の私たちにとっては、吹奏楽コンクールが目標でした。

3分間の曲を仕上げるのに、何カ月も費やします。一人一人が上手でも、いい音楽は作れません。仲間と心を一つに、みんなの音が一つに解け合うような音楽を目指すのです。

コンクールでの演奏が終わった瞬間、全力を尽くしきった充実感で仲間と涙しました。結果は銀賞。悔しさで、また涙しましたが、一緒に涙を流した仲間とは、今でも心を打ち明けられる良い仲間です。音楽を通して、仲間との絆、表現することのすばらしさを知りました。今は、教室でかわいい子どもたちの歌声に癒されています。



木倉小学校 松出 直子 教諭
(宇土市出身・☆歳)



イラストは
たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからの便りをお待ちしています。
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。

《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。

《Eメールアドレス》 kanri@town.mifune.lg.jp

※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。



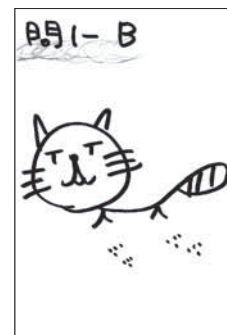
P.N.H.Y さん



PN. 羅刹 さん



遠山 紀杏 さん



加悦 裕人 さん



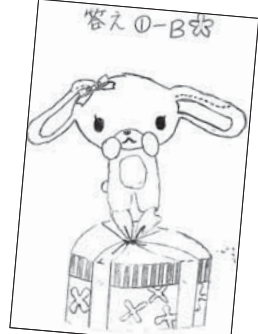
黒子テッパ さん



坂本 彩華 さん



上村 優奈 さん



鶴野 ゆい さん



鶴野 翔太 さん



藤本まさき さん

文芸

短歌

子のもとへ去りて解かれし家の跡白いコスモス静かにゆれる

藤本 京子

乗るバスの峠にかかればそこは雨 馬の背をも振り分けるとう

正宗タツ子

「この家に生まれて幸せです」と置手紙孫の一言テーブルの上

山本志満子

空蟬の雨に濡れつつ執念の生あるごとく葉裏離さず

市川 結子

思い出す空襲の夜「早よ行け」と病む父置きて壕に入りనికి

甲斐レイ子

大雨の流しし土砂に傾き立つカンナは赤き花保ちつつ

金森 英子

軽く立ち歩きたる夢にソツと泣く年は幾つと誰かききやく

北村ヤヨイ

俳句

御船春菊句会 大坪路子選

もうすでに風を遊ばせ芒原

守田 律子

里山の輝き初むる稲穂かな

丹生 則子

花野ゆく花の名尽きるところまで

黒田 順子

かなかなや泪とならぬ哀しみも

さとうともこ

秋桜のうす紅色がとても好き

渡辺 澄江

万有に光と陰のある秋日

緒方 栞

芋畠ぐるり猪よけ張りまはす

坂田志美子

肥後狂句

天狗会

ぶらぶらして 大分稼いだ万歩計

増永 笑和

ひちくどき できの良か孫自慢さす

平野 千鶴

気軽に 散歩帰りに上がり込み

鳥井 蘭

結果オーライ 定年迄にや済むローン

江藤 お竜

つらいなあ やもめ暮らしは酒が友

吉田 楽園

気軽に「電話してね」て言うテレビ

河地 ゆき

一般投稿

彼岸花今を盛りと咲き誇る里の棚田(田畑)を真つ赤に染めて

内村 孝子

夫逝きて八年経つも吾は生く星となりつも吾を守り呉るや

松岡 文江

気ぜわしく父の立日をつい忘れ「すまんです」と仏壇の前

川口 勝行

遠い昔 水すむごとき想いあり何故に浮かばぬ我が身の無念

河地ツタエ

同窓会 月に一度の楽しみは幼い頃の思い出話

川部 笑子